

追跡レポート

— あの質問のゆくえ —

パットの多頭飼育崩壊の防止は

ペットが増え過ぎて飼育環境が悪化する、いわゆる多頭飼育崩壊の未然防止に努める考えはどうか。
(令和5年3月議会)

答弁

環境省のガイドラインなどを受け、町報やチラシ、ホームページで周知・啓発を実施している。
今後、支援の在り方を検討したい。

どうなった

適正飼育に向けて準備

愛する家族の一員として迎え入れたペットの適正な飼育は飼い主の務めです。ペットの多頭飼育問題は、「飼い主が多頭の動物を飼育している中で、適切な飼育管理ができないことにより、飼い主の生活状況の悪化、動物の状態の悪化、周辺的生活環境の悪化の3つの影響が生じている状態」と定義されています。よって、適正な飼育が継続して実施でき



るのであれば、複数のペットがいたとしても問題にはなりません。

現在、町内における動物の適正飼育を推進するために（仮）白鷹町動物適正飼育推進委員会（以下、推進委員会）の設立に向けて準備を進めています。

推進委員会では、町内の動物関係団体等が相互に連携し、情報の共有、課題の整理、解決策の検討と実施に取り組み、人も動物も、命あるものが等しく幸せに生涯を全うできるまちづくりを目指します。

また、多頭飼育問題が生じているケースについては、推進委員会と連携し、去勢・不妊にかかる費用を支援する制度の実施も準備を進めています。

【町民課】

大切なペットの命のためにも、飼い主自らが自身と周囲の環境をよく考えることはもちろん、町でも適正な飼育ができるよう支援を含めて周知を推進していただきたい。

広報委員

委員長
丸川 雅 春
副委員長・編集長
佐々木 誠 司
委員
金 田 悟
委員
竹 田 雅 彦
委員
衣 袋 正 人
印刷・街梅津印刷

議会だより「しらたか」が創刊され今年で40年、町誕生70周年とあわせ記念すべき節目の年となります。先輩方が築いてこられました40年の歴史と伝統には目を見張るものがあり、議会だよりが持つ大きな役割を再確認していきたいと思っています。さて、40年前にこの町でイノシシによる農作物への被害を誰が予想できたでしょうか。個体数の増加、人的被害も心配されます。このようなことから、この度の補正予算に、捕獲ワナ等の資機材購入に対する事業費が計上されました。効果を期待したいものです。
(丸川)

編集後記



発行責任者 白鷹町議会議員 菅原 隆男 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地
E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp

電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128
HP <http://www.town.shirataka.lg.jp/gikai/>

